



# ニプロ コンニャク親玉植付機

## KT206

### 取扱説明書

ご使用になる前に必ずお読みください。







この製品を安全に、また正しくお使いいただくために、必ずこの取扱説明書をお読みください。

- 間違えた使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。
- お読みになった後は、必ず製品の近くに保管してください。

松 山 株 式 会 社

# ニプロ製品をお買い上げいただきまして 誠にありがとうございます。

## はじめに

- この取扱説明書はコンニャク親玉植付機の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書をよく読み十分理解されたから、正しくお取り扱いいただき、最良の状態でご使用してください。
  - お読みになった後は、必ず製品の近くに保管し、常に読めるようにしてください。
  - 製品を他人に貸したり、譲り渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
  - この取扱説明書を紛失、または損傷した場合は、すみやかに弊社、またはお買い上げいただきました販売店・農協へご注文してください。
  - 品質、性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。そのような場合には、本書の内容、および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
  - ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただきました販売店・農協へご相談ください。
  -  印付きの下記マークは、安全上、特に重要な事項です。必ず守って作業をしてください。
-  **危険** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
-  **警告** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
-  **注意** その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。
- この取扱説明書には安全に作業をしていただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。ご使用前に必ず読んでください。

## も く じ

安全に作業するために	1
警告ラベルの種類と位置	5
本製品の使用目的について	6
保証書について	6
アフターサービスについて	6
補修部品と供給年限について	6
主要諸元	7
各部のなまえと組立	8
① 各部のなまえ	8
② 組立	8
トラクタの規格	9
装着姿勢	9
トラクタの準備	9
カプラの取付け	10
装着の順序	11
① トラクタへの装着	11
持ち上げ時の注意	12
トラクタとの調整	13
① 振れ止め調節	13
② 前後角度の調節	13
③ 「最上げ」位置の調節	13
移動・ほ場への出入り	13
トラクタからの取外し	14
作業前の点検	14
① 機械のまわり	14
作業時の注意	15
作業の方法	15
① 作業速度	15
② 各部の調節	16
点検整備・保守管理	18
① ボルト・ナットのゆるみ点検	18
地球にやさしく	18
格納	18
点検整備チェックリスト	18
異常と処置一覧表	18
用語と解説	19

# 安全に作業をするために

ここに記載している注意事項を守らないと、死亡・傷害事故や、機械の破損の原因になります。よく読んで安全作業をしてください。

## 一般的な注意事項

### **警告** こんなときは運転しない

- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により作業に集中できないとき
- 酒を飲んだとき
- 妊娠しているとき
- 18歳未満の人

### **警告** 作業に適した服装をする

はちまき・首巻き・腰タオルは禁止です。  
ヘルメット・すべり止めのついた靴を着用し、だぶつきのない服装をしてください。  
【守らないと】機械に巻き込まれたり、すべって転倒するおそれがあります。

### **警告** 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。  
【守らないと】死亡事故や傷害事故、機械の破損をまねくおそれがあります。

### **警告** 機械を他人に譲り渡すときは取扱説明書を付ける

機械と一緒に「取扱説明書」を渡し、必ず読むように指導してください。  
【守らないと】死亡事故や傷害事故、機械の破損をまねくおそれがあります。

### **警告** トラクタに作業機を装着するときは必ずトラクタの取扱説明書を読む

トラクタに作業機を装着する前に、必ずトラクタの取扱説明書を読みよく理解してから作業機の装着をしてください。  
【守らないと】傷害事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

### **警告** 重量バランスの調整をする

トラクタに重い作業機やアタッチメントを装着するときは、トラクタメーカー純正のバランスウェイトを付け、バランス調整をしてください。  
【守らないと】傷害事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

### **注意** 公道の走行は作業機装着禁止

トラクタに作業機を装着して公道を走行しないでください。  
必ず、作業機を取外して走行してください。  
【守らないと】道路運送車両法違反です。  
事故を引き起こすおそれがあります。

### **注意** 機械の改造禁止

改造をしないでください。保証の対象にはなりません。  
純正部品や指定以外の部品を取付けしないでください。  
【守らないと】事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

## 点検・整備の注意事項

### **警告** 点検整備は平坦で安定した場所でおこなう

交通の邪魔にならず安全で、機械が倒れたり、動いたりしない平らで安定した場所で、点検整備をしてください。  
【守らないと】機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

### **注意** 点検・整備をする

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。  
【守らないと】事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

### **注意** 点検整備中はエンジンを停止する

点検・整備・修理、または掃除をするときは、必ずエンジンを停止してください。  
【守らないと】事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

### **注意** カバー類は必ず取付ける

装着のときや、点検・整備で取外したカバー類は、必ず取付けてください。  
【守らないと】機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

### **注意** 目的に合った工具を正しく使用する

点検整備に必要な工具類は、適正な管理をし、目的に合ったものを正しく使用してください。  
【守らないと】整備不良で事故を引き起こすおそれがあります。

## 作業時の注意事項

### **警告 作業機の着脱は平坦な場所でおこなう**

作業機の着脱は、平らで固い場所でおこなってください。  
【守らないと】下敷きになったり、ケガをしたりします。

### **警告 トラクタと作業機の周辺に人を近づけない**

トラクタの周辺や作業機との間に人を入れないでください。  
【守らないと】傷害事故を引き起こすおそれがあります。

### **警告 作業機の下にもぐったり、足を入れない**

作業機の下にもぐったり、足を入れないでください。  
【守らないと】何かの原因で作業機が下がったときに、傷害事故を負うおそれがあります。

### **警告 機械に巻き付いた草やワラを取るときはエンジンを停止する**

回転部分に草やワラが巻き付いたときは、必ずエンジンを停止させ、巻き付きを外してください。  
【守らないと】機械に巻き込まれて、死亡事故や重傷を負うおそれがあります。

### **警告 傾斜地では、ゆっくり大きくまわる**

傾斜地での高速・急旋回は、転倒のおそれがあり大変危険です。  
トラクタの速度を落とし、大きく回ってください。  
【守らないと】死亡事故や傷害事故を負うおそれがあります。

### **警告 作業機の落下防止をする**

作業機の落下を防止するため、油圧ストップバルブを完全に「閉め」てロックし、さらに作業機の下へ台を入れてください。  
【守らないと】死亡事故や傷害事故を負うおそれがあります。

### **警告 アユミ板は、強度・長さ・幅の十分あるものを使用する**

積込み、積降しをするときは、平坦で交通の邪魔にならない場所でトラックのエンジンを止めます。動かないようにサイドブレーキをかけ、車止めをしてください。使用するアユミ板は強度・長さ・幅が十分あり、すべり止めの付いているものを選んでください。  
長さのめやすは荷台高さの4倍です。  
【守らないと】事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

**⚠ 警告 子供を機械に近づけない**

子供には十分注意し、近づけないでください。  
【守らないと】傷害事故を引き起こすおそれがあります。

**⚠ 注意 作業機の調整はエンジンを停止しておこなう**

作業機の調整をするときは、作業機を下げ、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してからおこなってください。  
【守らないと】傷害事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

## 格納時の注意事項

**⚠ 注意 コンニャク親玉植付機単体の転倒防止をする**

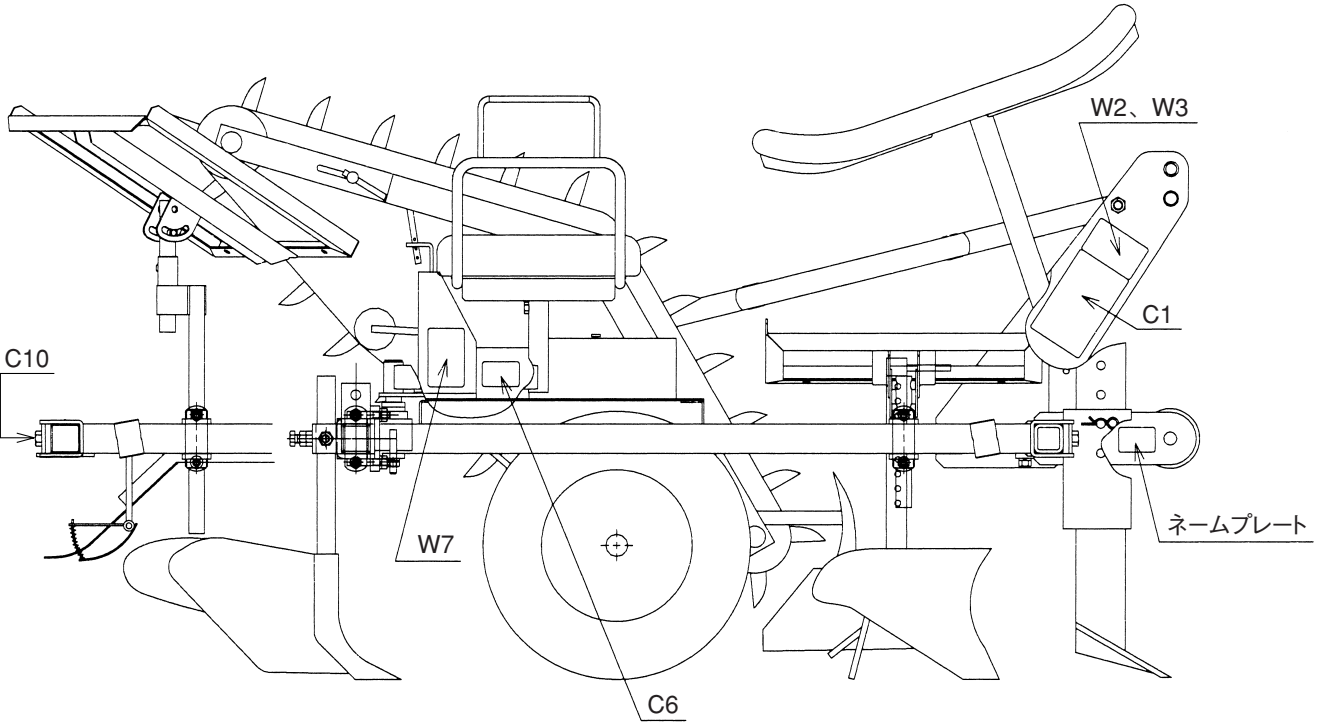
前方のスタンドと後方スタンドを付け、止めピンで止め、Rピンで抜け止めをして、転倒防止をしてください。  
【守らないと】傷害事故を引き起こすおそれがあります。

**⚠ 注意 格納時はカプラを外す**

【守らないと】傷害事故を引き起こすおそれがあります。

# 警告ラベルの種類と位置

- 警告ラベルは図の位置に貼ってあります。よくお読みになって安全に作業をしてください。
- 警告ラベルは、汚れや土を落とし常に見えるようにしておいてください。
- 紛失、または破損された場合には、お買い上げいただいた販売店、または農協へ下記型式、およびコードナンバーでご注文のほどお願いいたします。



C1 8750-318000

**注意**

使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。

**始動** ●エンジン始動時や作業機関係操作レバーを操作するときは、必ず周囲に人がいないことを確認してください。

**運転** ●旋回時、後退時や作業機を上下位置に操作するときはまわりや後方をよく確認してください。

●作業機の上に人を乗せないでください。

**整備** ●作業機の修理・点検・清掃を行なうときはトラクターを平坦な場所に移動し駐車ブレーキをかけて、エンジンを停止し、油圧降下防止用のストップバルブをロック(開)方向に締込んでください。

●作業機を着脱するときはトラクターと作業機の間に立たないでください。

●始業点検時、ジョイントに必ずグリスを注入してください。各部のオイル量を点検し、少ない場合はギアオイルを補給してください。

●各部ボルト、ナット類の点検を行ない、必要があれば増し締めしてください。

●カバー類は必ず所定の位置に装着してください。

8750-318000

C6 8750-330000

**注意**

●作業時以外は、乗車しないでください。

●ケガをするおそれがあります。

C6 8750-330000

C10 8750-337000

**注意**

●作業中や旋回時は近づかないでください。

●ケガをするおそれがあります。

8750-337000

W2 8750-317000

**警告**

●作業機の修理・点検・清掃を行なうときは、油圧降下防止用のストップバルブを、ロック(開)方向に締込んでください。

●作業機が降下してケガをするおそれがあります。

8750-317000

W3 8750-326000

**警告**

●作業機を着脱するときはトラクターと作業機の間に立たないでください。

●はさまれてケガをするおそれがあります。

8750-326000

W7 8750-324000

**警告**

●運転中は、回転部に手を入れないでください。

●ケガをするおそれがあります。

8750-324000

ネームプレート

**ヤマロ**

型式

区分

製造元 松山株式会社

製造番号

## 本製品の使用目的について

- コンニャク親玉植付機は決められた適応馬力で設計されています。適応トラクタ馬力の範囲内で使用してください。範囲を超えての使用は故障の原因となり、保証の対象にはなりません。
- コンニャク親玉植付機は「標準3点リンク」で設計されています。他の規格「特殊3点リンク」などでは装着できません。
- コンニャク親玉植付機の改造は決しておこなわないでください。保証の対象にはなりません。

## 保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられるときに必要となるものです。

お読みになった後は大切に保管してください。

## アフターサービスについて

機械の調子が悪いときは、この取扱説明書を参照し点検してください。点検・整備しても不具合がある場合は、お買い上げいただいた販売店・農協、または弊社までご連絡ください。

- ご連絡いただきたい内容

(1)型式名と製造番号

- ・ネームプレートを見てください。

(2)ご使用状況

- ・ほ場の条件は 石が多いですか？  
強粘土ですか？

- ・トラクタの速度は？

(3)どのくらい使用されましたか？

- ・約□□アール、または□□時間

(4)不具合が発生したときの状況をなるべく、くわしく教えてください。

## 補修部品と供給年限について

- この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし供給年限内であっても、特殊部品については納期などご相談させていただく場合があります。



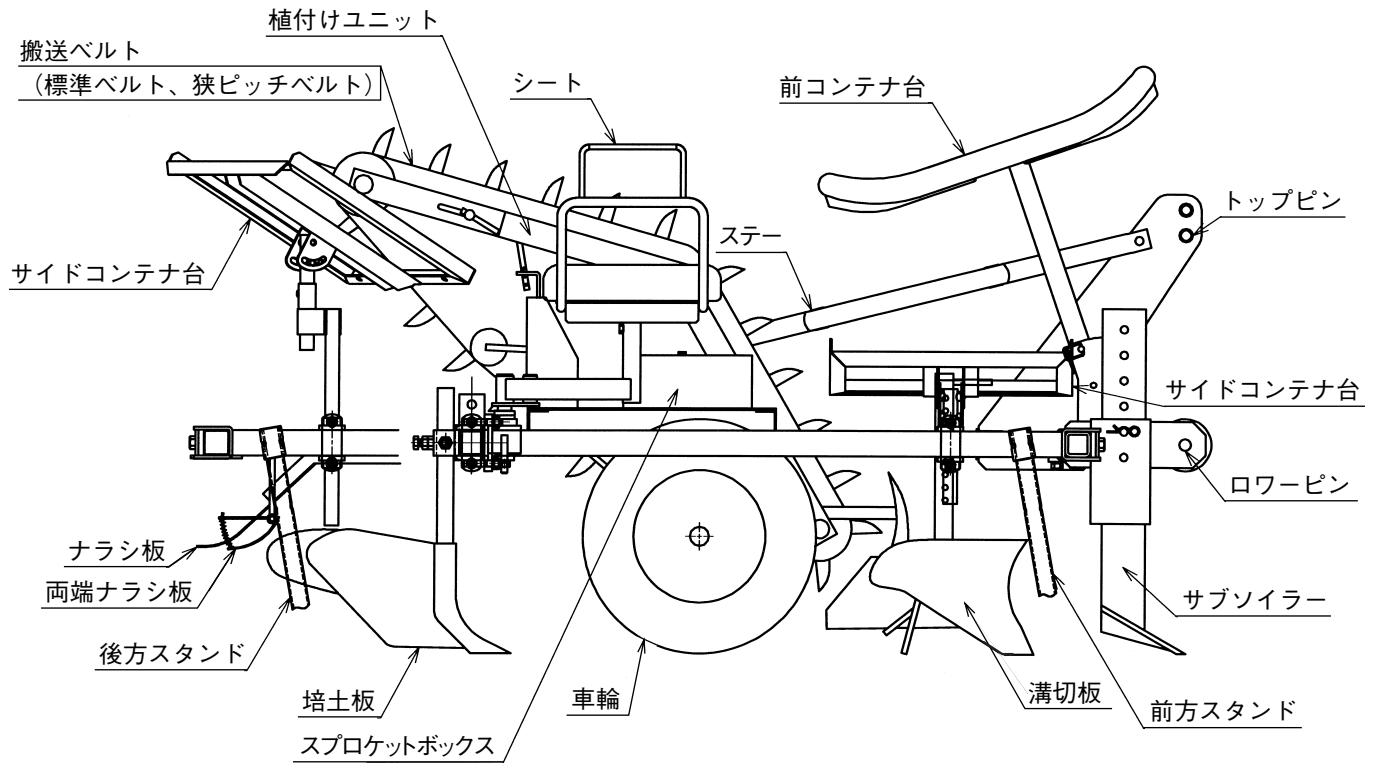
## 主要諸元

型式・区分	KT-206	
	0 S	1 S
全長 (mm)	2100	
全幅 (mm)	2100	
全高 (mm)	1200	
機体質量 (kg)	370	
条間 (cm)	45~60 (2条)	
適応トラクタ kW(PS)	22.1~36.8 (30~50)	
適応トレッド (cm)	100~135	
作業速度 (km/h)	0.3~1.2	
作業能率 分/10a	90~	
溝切板深さ調節	25m/mピッチ	
コンベア幅 (cm)	10	
コンベア バケットピッチ (cm)	バケット24 11.6 バケット34 8.3	
装着方法	標準3Pオートヒッチ 0、1型	標準3P直装
駆動方法	接地輪 (タイヤ) 駆動	
変速有無	有 (植付けコンベア)	
変速方法	スプロケット交換	
作業人員	トラクタ運転者1人、植付け作業員2人	

本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

# 各部のなまえと組立

## ① 各部のなまえ



## ② 組立

図を参考にして組付けてください。

## トラクタの規格

- コンニャク親玉植付機の3点リンク装着システムは、「標準3点リンク規格」と日農工統一規格「日農工標準3点オートヒッチ」を採用しています。
- 「日農工標準3点オートヒッチ」はさらに、4セット・3セット・0セットと3種類に分かれます。4セットは3点リンクとジョイントが同時に自動装着でき、3セットは3点リンクのみが自動装着で、ジョイントは手で付けます。0セットはすでにお手持ちの3セットシリーズ作業機と共用するため、カプラ、およびジョイントは標準装備していません。
- 3点リンクの規格の判別は、型式の末尾で判断してください。

型式末尾	3点リンク規格	呼称
1S	標準3点リンク	1セット
4S	日農工標準3点オートヒッチ	4セット
3S		3セット
0S		0セット

## 装着姿勢

### 警告

- コンニャク親玉植付機の装着、取外しは平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。
- 守らないと、死亡事故や傷害事故につながります。

前方スタンド、後方スタンドを取付けます。

## トラクタの準備

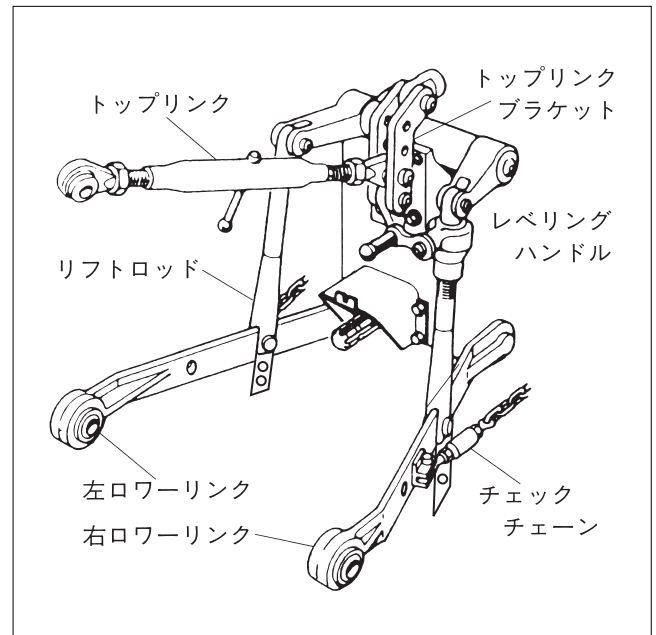
- コンニャク親玉植付機の3点リンク装着システムは、「標準3点リンク規格」を採用しています。

### 注意

- トラクタの取扱説明書「3点リンクの規格」をよく読んでください。

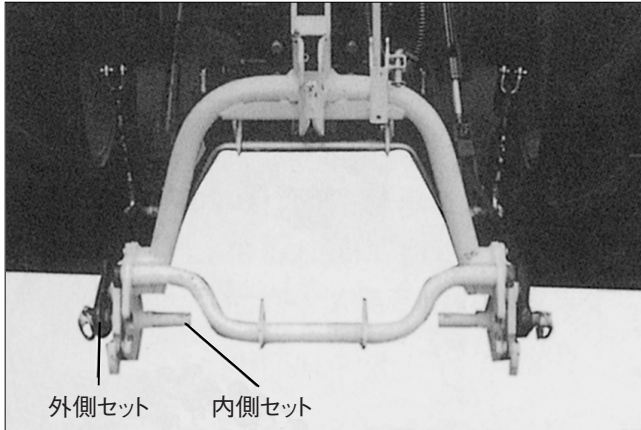
守らないと取付けができなかったり、機械の損傷やケガの原因になります。

- (1)コンニャク親玉植付機は「標準3点リンク規格」です。トラクタの3点リンクも標準3点リンクでないと装着できません。
- (2)「特殊3点リンク規格」の場合は、特殊3点リンク用トップリンクブラケットを外し、トップリンクを標準3点リンク用の物に交換してください。両側にネジの付いた物で、長・短の調整の出来る物を使用してください。
- (3)コンニャク親玉植付機の持ち上げ時に地上高が不足する場合は、リフトロッドの取付穴位置をリフトロッドの上の穴に移してください。



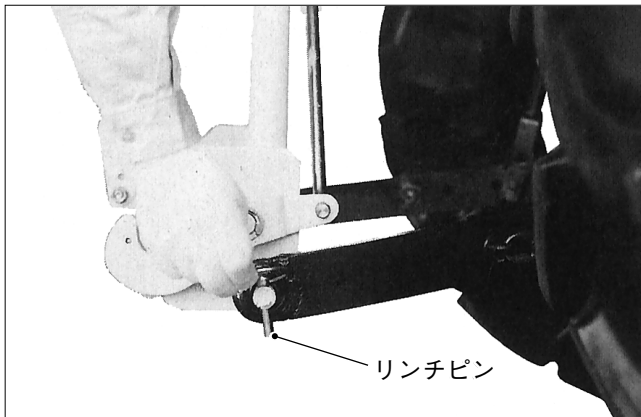
## カプラの取付け

- (1)トラクタの油圧レバーを操作し、ローリンクを「最下げ」にします。
- (2)左右のローリンクをローピンに取付けます。  
内側セットと外側セットができます。トラクタの3点リンク規格に合わせてください。

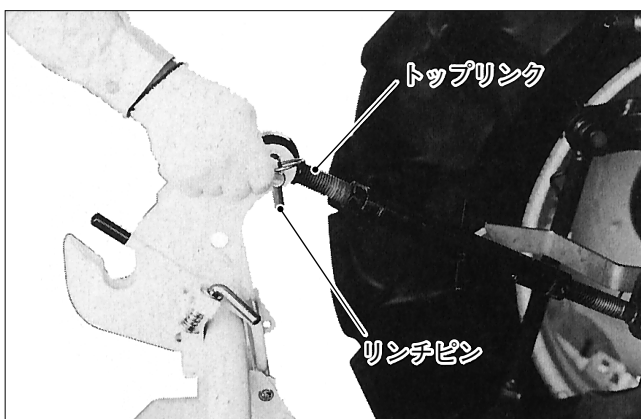


	内側セット	外側セット
ESカプラ	JIS 0大	JIS 1

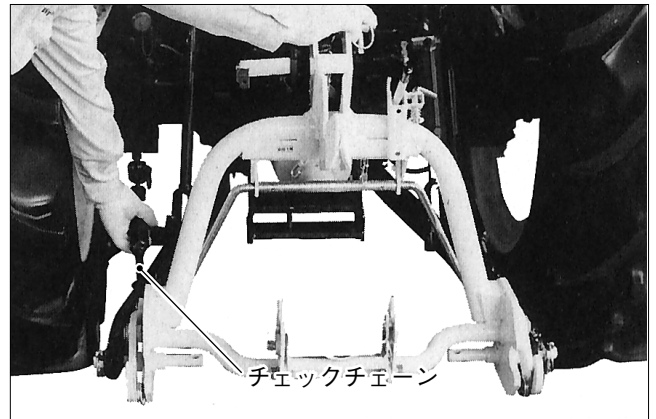
- 必ず、リンチピンで抜け止めをしてください。



- (3)カプラをトラクタのトップリンクに、トラクタに付属しているトップリンクピンで取付けます。

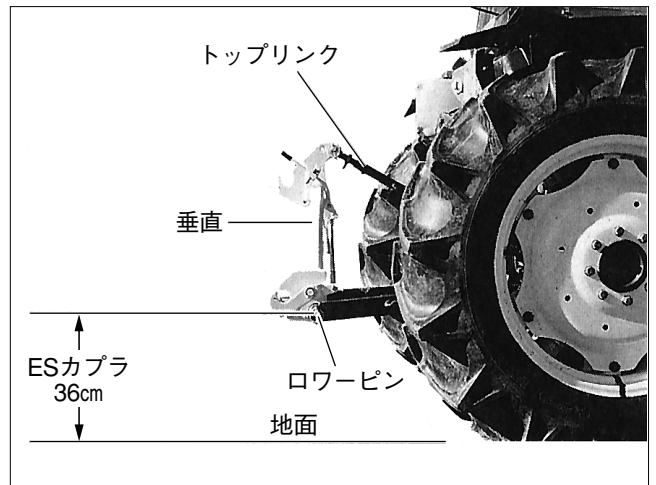


- (4)トラクタの中心に合わせ、左右均等に10~20mm振れるように、チェックチェーンで振れ止めをします。



### トップリンクの取付位置について

- トップリンクの取付位置は横からトップリンクを見て、トラクタ側を上側に、カプラ側を下側に取付けます。
- トップリンクの長さは、ローピンが地上高、ESカプラで36cmのとき、カプラが垂直になるように調整してください。



- ⑨カプラ取付け終了後、カプラを手で持ち上げて、トップリンク等が干渉しないことを確認します。  
干渉する場合は、トップリンク位置をトラクタ側は1個ずつ上に、また、作業機側は1個ずつ下に取付けると、少しずつ上がり量が少なくなります。

## 装着の順序

### ⚠ 警告

- コンニャク親玉植付機装着は平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。
- トラクタのまわりやコンニャク親玉植付機との間に人が入らないようにしてください。
- コンニャク親玉植付機の下へもぐったり、足を入れたりしないでください。
- コンニャク親玉植付機の装着をするときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。
- 重いコンニャク親玉植付機を装着したときは、トラクタメーカー純正のバランスウェイトを付け、バランス調整をしてください。

守らないと死亡事故や傷害事故につながります。

### ⚠ 注意

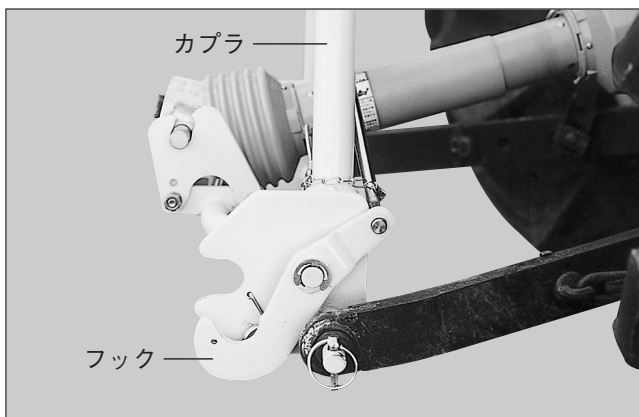
- トラクタ取扱説明書の「3点リンクの規格」をよく読んでください。
- PTOクラッチを切り、トラクタのエンジンを必ず停止してコンニャク親玉植付機の取付けをしてください。
- 必ず、リンチピンで抜け止めをしてください。

守らないと取付けができなかったり、機械の損傷やケガの原因になります。

#### 1 トラクタへの装着

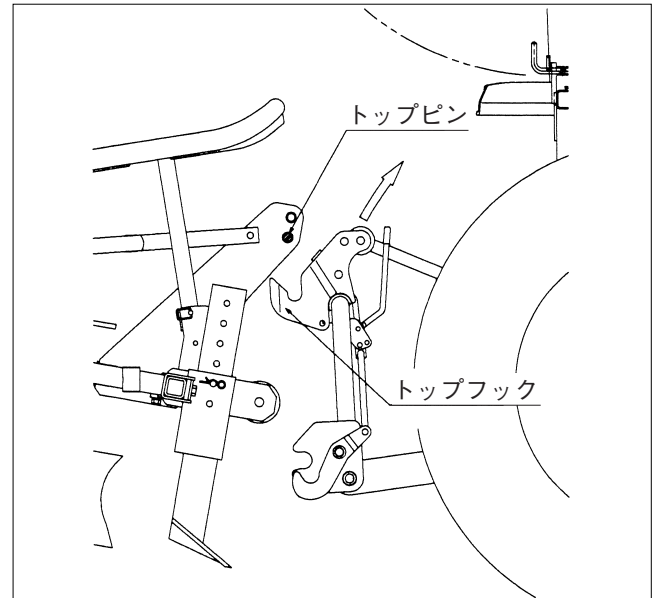
##### OSの場合

- (1) カブラのハンドルを引き上げて、ストッパーを解除し装着状態にします。



- (2) トラクタをコンニャク親玉植付機の中心に合わせ、まっすぐバックさせます。

トラクタの油圧を下げ、カブラのトップフックをコンニャク親玉植付機のトップピンの下へくぐらせます。トラクタとコンニャク親玉植付機の中心が合うまで繰り返してください。



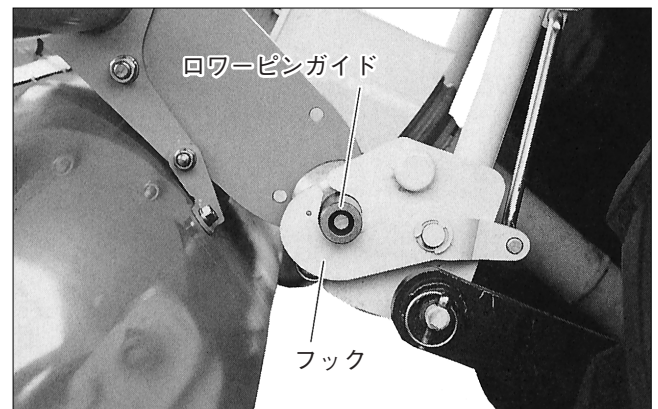
- (3) ゆっくりトラクタの油圧を上げて、トップフックでトップピンをすくい上げます。

コンニャク親玉植付機のローワーピンガイドがカブラのローワーフックに入ります。

- (4) ハンドルを押し、フックで固定します。

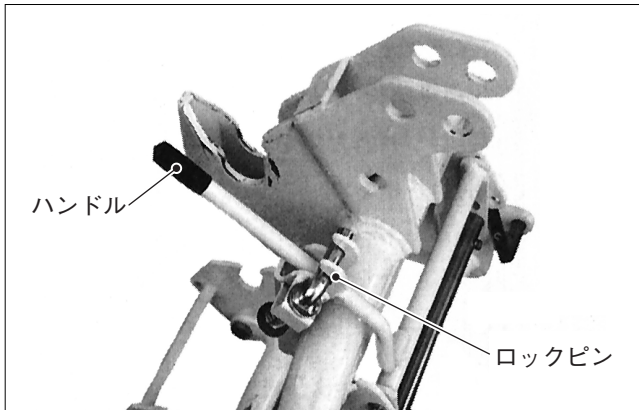
※コンニャク親玉植付機が左右に傾いているときは、トラクタの右側リフトロッドの長さを調節し、コンニャク親玉植付機の傾きにカブラの傾きを合わせてから装着してください。

- (5) ローワーピンガイドがフックで確実に固定されているか、必ず確認してください。



(写真はドライブハローです)

- (6)ロックピンを回転させて、ハンドルを確実にロックします。



- (7)スタンドを外します。

### 1Sの場合

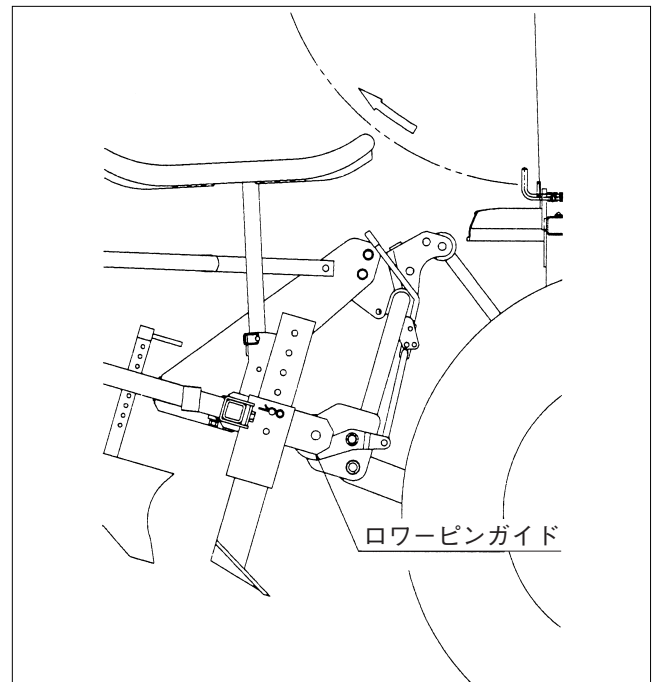
- (1)トラクタをコンニャク親玉植付機の中心に合わせまっすぐバックさせます。
- (2)トラクタの左ローリンクをコンニャク親玉植付機の左ローピンに取付けます。
- (3)トラクタの右ローリンクをコンニャク親玉植付機の右ローピンに取付けます。高さが合わないときはレベリングハンドルを回し、リフトロッドの長さを調節して取付けてください。
- (4)トップリンクをコンニャク親玉植付機のマストへ、トラクタ付属のトップリンクピンで、長さを調節して取付けます。
- (5)スタンドを外します。

## 持ち上げ時の注意

- (1)トラクタに装着したときは、「最上げ」時にトラクタとコンニャク親玉植付機がぶつからないように、油圧をゆっくり上げながら確認します。特にキャビン付きトラクタの場合は、背面のガラスを突き上げないように注意してください。
- (2)トラクタのなかには、スイッチで「最上げ」まで自動上昇する機種があります。作業機が勢いよく上がるため、100mm以上間隔を開けるように、上げ規制をしてください。
- (3)トップリンクやローリンクの取付穴位置、およびリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合には、調整をやり直してください。
- (4)リフトロッドの長さを調節して、コンニャク親玉植付機の左右を水平に調節してください。

### ⚠ 注意

- トラクタの取扱説明書「3点リンク、および油圧関係」をよく読んでください。守らないと機械の損傷やケガの原因となります。



## トラクタとの調整

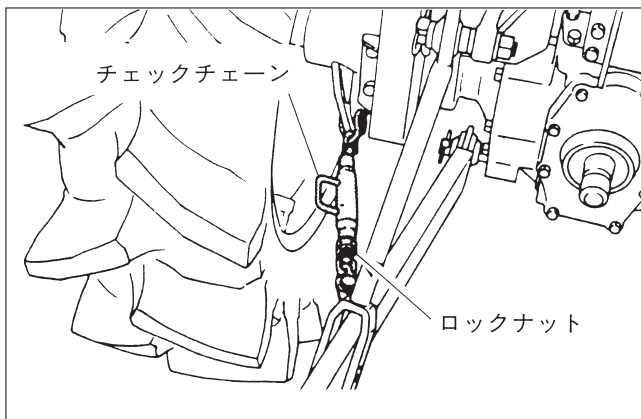
### ⚠ 警告

- コンニャク親玉植付機の調整をするときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してからおこなってください。
- トラクタのまわりやコンニャク親玉植付機との間に人が入らないようにしてください。
- コンニャク親玉植付機の下へもぐったり、足を入れたりしないでください。

守らないと死亡事故や傷害事故の原因になります。

#### ① 振れ止め調節

トラクタの中心（PTO軸）とコンニャク親玉植付機の中心（入力軸）を一直線に合わせ、チェックチェーンを左右均等に10～20mm位、振れるように張ります。石の多いほ場では、ややゆるく張ってください。



#### ② 前後角度の調節

コンニャク親玉植付機のフレームが水平になるように、トラクタのトップリンクの長さを調節します。

#### ③ 「最上げ」位置の調節

最上げ位置を干渉のない位置で、油圧レバーの「上げ規制ストッパー」を止めます。

## 移動・ほ場への出入り

### ⚠ 警告

- コンニャク親玉植付機が付いていると後ろが長くなります。周囲の人や物に注意して旋回してください。
- 高速走行、急発進、急停車はしないでください。旋回するときはスピードを落とし、急旋回はさけてください。
- 運転者以外の人や物をのせないでください。
- 子供には十分注意し、機械へは近づけないでください。
- 急な登り坂で前輪が浮き上がると、ハンドル操作ができなくなりとても危険です。トラクタメーカー純正のバランスウェイトを付けてください。
- あぜ越えや段差を乗り越えるときはアユミ板を使用し、地面に接しない程度にコンニャク親玉植付機を下げ、重心を低くしてください。使用するアユミ板は、強度・長さ・幅が十分あり、すべり止めのある物を選んでください。

守らないと死亡事故や傷害事故につながります。

### ⚠ 注意

- トラクタにコンニャク親玉植付機を装着して公道を走行しないでください。守らないと「道路運送車両法違反」となり、事故を引き起こす原因になります。

- (1)移動のときは、コンニャク親玉植付機を上げ、油圧ストップバルブを完全に「閉め」、下がるのを防ぎます。コンニャク親玉植付機が左右に振れないように、チェックチェーンを張り、ロックナットを締めてください。
- (2)ほ場への出入りはあぜに対して直角に、ゆっくり前進でおこなってください。
- (3)コンニャク親玉植付機の地上高が不足する場合は、トップリンクを締め、地上高を確保してください。

## トラクタからの取外し

### ⚠ 警告

- コンニャク親玉植付機の取外しは平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。
- トラクタのまわりやコンニャク親玉植付機との間に人が入らないようにしてください。
- コンニャク親玉植付機の下へもぐったり、足を入れたりしないでください。

守らないと死亡事故や傷害事故につながります。

### ⚠ 注意

- PTO変速レバーを「中立」の位置にして、取外してください。

守らないと傷害事故につながります。

#### 0Sの場合

- ① スタンドを装着姿勢のとおり、取付けます。「各部のなまえ」図参照ください。
- ② カブラのハンドルを引き上げて、ロックを解除します。
- ③ コンニャク親玉植付機をゆっくり下げます。カブラのローフックが抜け、トップピンからトップフックが外れたのを確認してから、ゆっくりトラクタを前進させます。
- ④ 外れない場合は、トラクタとコンニャク親玉植付機の左右の傾斜が合っていないか、トラクタがまっすぐ前進していないかのどちらかです。確認してやり直してください。

#### 1Sの場合

- ① スタンドを付け、コンニャク親玉植付機をいっばいに下げます。
- ② トップリンクの長さを調節しながらマストからトップリンクピンを抜き、トップリンクを外します。
- ③ 右ローリンクを外します。
- ④ 左ローリンクを外します。
- ⑤ トラクタをゆっくり前進させます。

### ⚠ 注意

- 装着・取外しのとき以外は絶対にカブラのハンドルには手をふれないでください。

守らないとコンニャク親玉植付機が外れ、傷害事故につながります。

## 作業前の点検

### ⚠ 警告

- 点検は交通の邪魔にならず安全な所で、機械が倒れたり動いたりしない、平らな固い場所でおこなってください。
- 点検・整備・調整をするときは、必ずエンジンを停止してください。  
守らないと死亡事故や傷害事故、機械の損傷につながります。
- トラクタの取扱説明書「作業前の点検」をよく読んでください。
- 機械の性能を引きだし、長くご使用いただくために、必ず作業前の始業点検をしてください。
- 各部のゆるんだボルト・ナットなどは、増締めをしてください。

#### ① 機械のまわり

- (1) 各部の損傷、汚れ、ボルト、ナットのゆるみ点検



## 作業時の注意

### ⚠ 警告

- 作業中は、トラクタとコンニャク親玉植付機の周辺に人を近づけないでください。
  - 作業時以外は運転者以外の人をのせないでください。
  - ナイフに草やワラが巻き付いたときは、必ずエンジンを停止させて、巻き付きを外してください。
  - 傾斜地での急旋回は転倒のおそれがあり大変危険です。トラクタ速度を遅くし、大きく回ってください。
  - コンニャク親玉植付機の調整をする場合は、必ずエンジンを止めてからおこなってください。
- 守らないと死亡事故や傷害事故の原因になります。

- (1)あぜ際での作業は、あぜにコンニャク親玉植付機をぶつけないように低速で、余裕をもって運転してください。
- (2)作業が終わりましたら、土やゴミをほ場内できれいに落とし、道路には落とさないでください。
- (3)作業中コンニャク親玉植付機に異常が発生したら、すぐにエンジンを止め点検してください。そのまま使用し続けると、他の部分にも損傷がひろがるおそれがあります。
- (4)作業するときは必ず、スタンドを外して作業してください。

## 作業の方法

### ⚠ 警告

- コンニャク親玉植付機の調整をするときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。守らないと死亡事故や傷害事故につながります。

### ⚠ 注意

- 作業が終わったら、草やゴミを路上に落とさないでください。守らないと道路交通法違反になります。

#### ① 作業速度

トラクタの作業速度は0.3~1.2km/hが標準です。ほ場の固さ、軟らかさで作業速度は左右されます。作業速度が速すぎるとトラクタの車輪がスリップします。速度を遅くしてください。

## 2 各部の調節

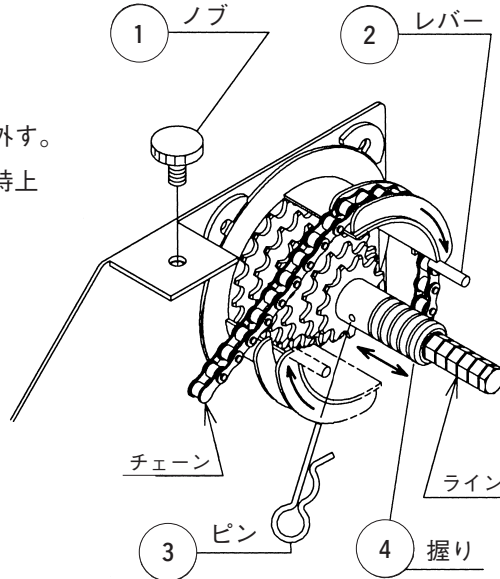
### 注意

作業機の調節を行う際は、必ずエンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてください。

#### 株間調節

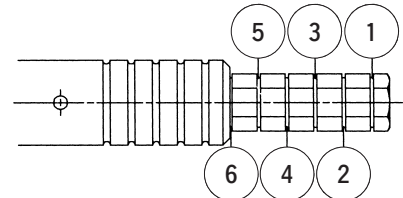
##### 1 調節の仕方

- ① ノブを取り、カバーを外す。
- ② レバーで、チェーンを持上げたら、当り返回す。
- ③ ピンを抜く。
- ④ 握りをスライドさせラインに合わせる。
- ⑤ ピンを差す。
- ⑥ レバーを元に戻し、チェーンを掛ける。
- ⑦ カバーを取り付ける。



#### 2 株間表

#### ライン位置



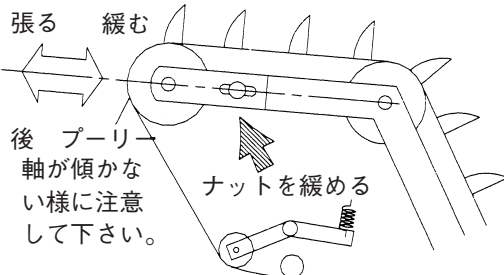
ライン	標準ベルト	狭ベルト	スプロケット
①	29cm	(21) cm	22枚
②	26	19	20
③	23	16	18
④	20	14	16
⑤	17	12	13
⑥	14	10	11

#### 作業時の機体姿勢

植付機のフレームが水平になるように3点リンクのトップリンク長さを調節して下さい。

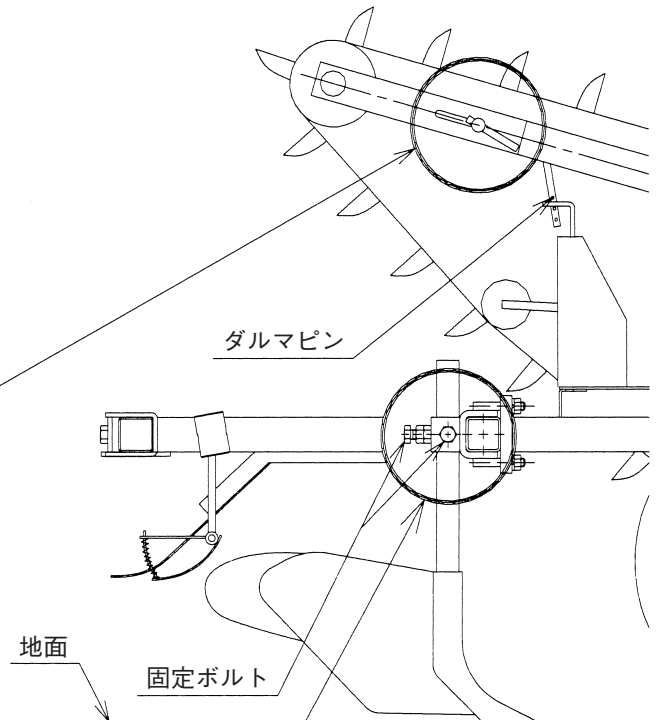
#### コンベアベルトの調節

- コンベアベルトの長さは湿度により変化します。後プーリーの前後移動でベルトの張りを保って下さい。



- コンベアベルトの角度調節  
ダルマピンの取付位置によりベルトの角度を変えられます。

- コンベアベルトの交換  
ベルトを回転すると接合部（レーシング）が現れます。ベルトをたるませてレーシングピンを抜いてください。



#### 培土板の調節

溝切板で盛り上げた土を覆土できる位置へ移動して、固定ボルトで固定します。

**条間調節**

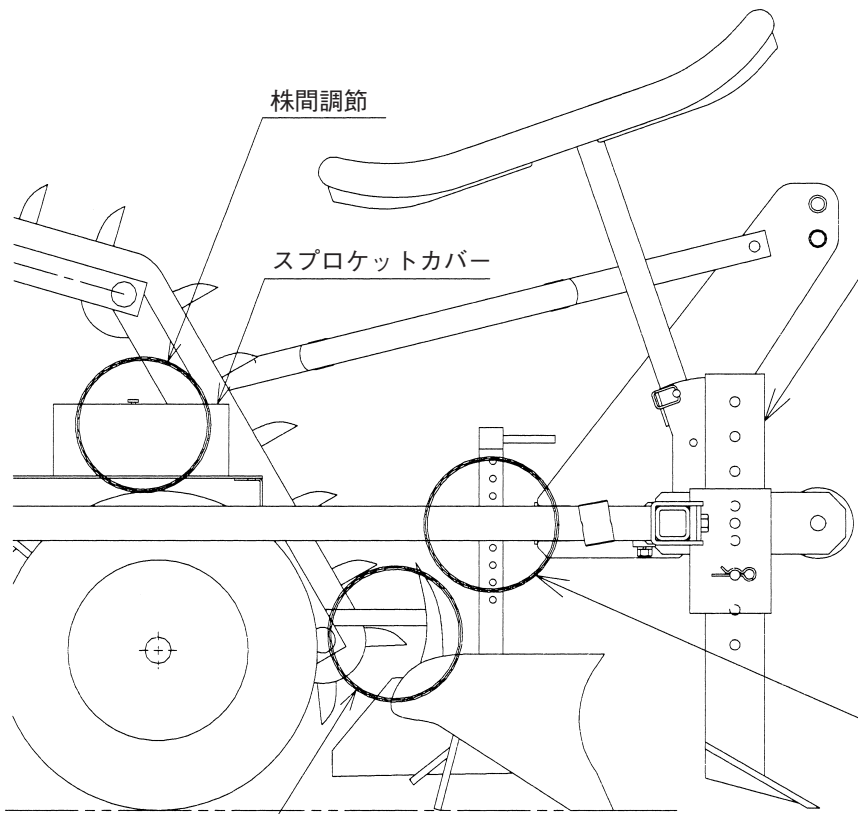
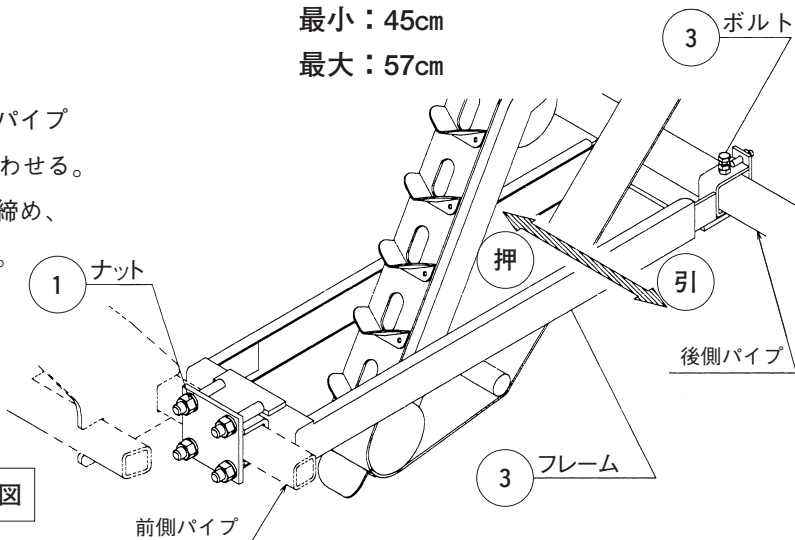
**1 調節の仕方** (左・右のフレームについて行う)

- ① ナット 4 個を一杯ゆるめる。
- ② ボルトを一杯ゆるめる。
- ③ フレーム全体を、前側パイプ、後側パイプに平行に押(引)して希望の条間に合わせる。
- ④ 調節後は、先に①ナットをしっかり締め、次に②ボルトをしっかり締めること。

**2 条間調節範囲**

最小：45cm  
最大：57cm

左側フレーム図

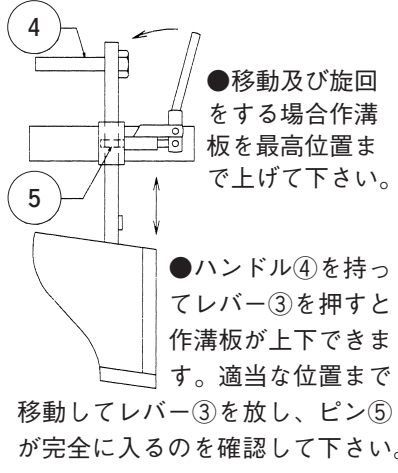


**サブソイラの深さ調節**

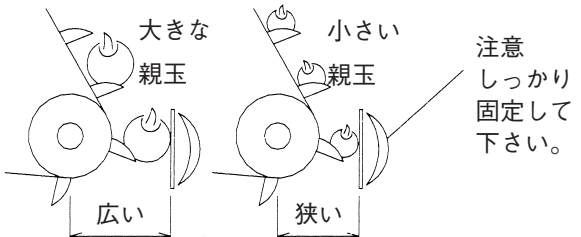
下から3番目で、下の取付穴を、使用すると刃先が地面と同じ高さになります。  
深さは2.5cm間隔で調節出来ます。

**溝切板の深さ調節**

下から5番目の穴を使用すると、底面が地面と同じ高さになります。  
深さは2.5cm間隔で調節出来ます。



**親玉落下口の調節**



## 点検整備・保守管理

長くお使いいただくためには、日常の保守管理が大切です。

### ⚠ 警告

- 点検・整備をするときは、交通の邪魔にならず安全なところを選んでください。機械が動いたり、倒れたりしない平らで固い場所で、トラクタの前輪には車止めをしてください。
  - 点検・整備をするときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してからおこなってください。
  - コンニャク親玉植付機の落下を防止するため、油圧ストップバルブを完全に「閉め」でロックし、さらにコンニャク親玉植付機の下へ台を入れてください。
  - ナイフに草やワラが巻き付いたときは、必ずエンジンを停止させ、巻き付きを外してください。
- 守らないと死亡事故や傷害事故の原因になります。

#### ① ボルト・ナットのゆるみ点検

使用時ごとに各部のボルト・ナットを増締めしながら点検してください。新品の場合は使用2時間後に必ず増締めをしてください。

## 地球にやさしく

- ①使用済みのオイルをむやみに捨てると環境汚染になります。
- ①オイルを排出するときは、必ず容器に受けてください。地面へのたれ流しや川への廃棄は絶対にしないでください。
- ②廃油・各種ゴム部品などを捨てる時は、お買い求めの農協、販売店にご相談ください。

## 格納

### ⚠ 警告

- 格納は、雨や風があたりず、平らで固い場所を選んでください。
  - コンニャク親玉植付機の格納はスタンドを必ず付け、転倒を防止してください。
  - 格納庫には子供を近づけないでください。
  - 格納の際にはカプラをはずしてください。
- 守らないとコンニャク親玉植付機が転倒し傷害事故や機械の損傷につながります。

## 点検整備チェックリスト

時 間	項 目
新品使用2時間	①ボルト、ナットを増締め
	②チェックチェーン、トップリンクの調節
使 用 後	①きれいに洗い、水分をふき取る
	②ボルト、ナット、ピン類のゆるみ、脱落チェック
	③回転部へのグリース塗布
シーズン終了後	①回転部へのグリース塗布
	②プラスチック部品は紫外線をさけて保管すること

## 異常と処置一覧表

症 状	原 因	処 置
ベルトが回らない	ベルトの張りが均一でないまたは張りが足りない	調節のやり直し
	チェーンがはずれている	取付確認
	軸受の異常（ボルトの緩み）	ボルトの増締め

## 用語と解説

### アタッチメント

作業機に後付けする製品

### オート装置

作業機の均平板の動きをセンサで感知して、トラクタに電気または機械信号で伝え、トラクタの油圧を自動的に作動させ、作業深さを一定に規制する装置

### オートヒッチ、カプラ

トラクタに乗ったままワンタッチで作業機を装着できるヒッチ

### クリープ（速度）

超低速の作業速度

### 耕うん爪取付方法

#### 1 フランジタイプ

耕うん軸の板（フランジ）に、耕うん爪1本に対して、ボルト2本（組ボルトは1個）で取付ける方法。

#### 2 ホルダータイプ

耕うん軸のホルダー（ブラケット）に、耕うん爪を差し込んで、ボルト1本で取付ける方法。

### 耕 深

耕うんする深さ

### コネクタ

コードとコードをつなぐ接続口

### サーキットブレーカ

電流が設定値より過大になると回路を遮断するもので、一時的に回路の損傷を防ぎます

### 3点リンク

トラクタに作業機を装着するための3点で支持をおこなうリンク

### ジョイント

トラクタの動力を作業機へ伝達するための軸

### ターンバックル

トップリンクの短い物（長さの調整ができる）

### ダッシング

耕うん爪の回転でトラクタが前に押され飛び出すこと

### チェックチェーン

トラクタに対し作業機が左右に振れる量を規制するチェーン

### トップリンク

作業機を装着する3点のリンクのうち、作業機の上部を吊り下げているリンク

### ハイリフト（ニプロロータリー 10シリーズ）

フレームパイプの連結ロット取付位置と、均平板下部の頭付ピンが取付けてある位置を、連結ロットでつなぎ、均平板をはね上げる事（はね上げの方法は、均平板の調整の項参照）

### ブラケット側

チェーンケースの反対の軸受側

### ポジションコントロールレバー

作業機を上げ下げするために使用するレバー

### メカニカルロック

機械的に固定する。

### 揚 力

トラクタが作業機を上昇させるための力

### リフトロッド

トラクタが作業機を上げるためロワーリンクと連結しているアーム

### リリース状態（音）

シリンダーが最縮および最長時、これ以上伸び縮みできないときに音が変わったとき

### リリース弁

油圧装置に規定以上の油の圧力がかかり、油圧装置が破損することを防止する弁

### ロワーリンク

作業機を装着する3点リンクのうち、作業機の下部を吊り下げているリンクで左右1本ずつある

# 松山株式会社

- 本社 〒386-0497 長野県上田市塩川5155  
☎(0268)42-7500 FAX 0268-42-7556
- 物流センター 〒386-0497 長野県上田市塩川2949  
☎(0268)36-4111 FAX 0268-36-3335
- 北海道営業所 〒068-0111 北海道岩見沢市栗沢町由良194-5  
☎(0126)45-4000 FAX 0126-45-4516
- 旭川出張所 〒079-8451 北海道旭川市永山北1条8丁目32  
☎(0166)46-2505 FAX 0166-46-2501
- 帯広出張所 〒082-0004 北海道河西郡芽室町東芽室北1線18番10  
☎(0155)62-5370 FAX 0155-62-5373
- 東北営業所 〒989-6228 宮城県大崎市古川清水三丁目石田24番11  
☎(0229)26-5651 FAX 0229-26-5655
- 関東営業所 〒329-4411 栃木県栃木市大平町横堀みずほ5-3  
☎(0282)45-1226 FAX 0282-44-0050
- 長野営業所 〒386-0497 長野県上田市塩川2949  
☎(0268)35-0323 FAX 0268-36-4787
- 岡山営業所 〒708-1104 岡山県津山市綾部1764-2  
☎(0868)29-1180 FAX 0868-29-1325
- 九州営業所 〒869-0416 熊本県宇土市松山町1134-10  
☎(0964)24-5777 FAX 0964-22-6775
- 南九州出張所 〒885-0074 宮崎県都城市甲斐元町3389-1  
☎(0986)24-6412 FAX 0986-25-7044